

令和3年第13回琴浦町教育委員会会議録	
日 時	令和3年12月13日(月) 13:30~15:00
場 所	まなびタウンとうはく3階 第1会議室
出席委員	森田澄恵委員兼CSディレクター、高力和美委員、新田朗尚委員、黒松悟司委員、田中清治教育長
その他出席者	桑本教育総務課長兼学校給食センター長 宮本社会教育課長 小惊人権・同和教育課長、 岸本指導主事
傍聴人	なし
議事録署名委員	森田委員、新田委員
日 程	1 開 会 2 議事録署名委員の指名 3 教育長報告 4 各課報告 5 報告 後期計画訪問について コミュニティ・スクールについて 6 その他 7 閉 会

<p>教育長</p>	<p>令和3年 第13回定例会の会議概要記録</p> <p>日程第1 開会 令和3年第13回定例会を開会します。</p>
<p>教育長</p>	<p>日程第2 議事録署名委員の指名 議事録署名委員を森田委員と新田委員にお願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>日程第3 教育長報告 教育長報告です。11月の27から30日まで東伯部落解放文化祭が行われました。校長会の日に安全衛生委員会を開きました。学期1回ですけれども安全衛生委員会を開いて取り組みを進めてきております。取り組みの中で通知表の所見欄をなくしたのは、とても負担軽減に繋がったという意見をいただいております、今後もこれは続けていこうと思っております。12月2日に就学指導委員会を開催しました。それから、中部ハイスクールフォーラムを行い、このたびは琴浦町が担当ということで社会教育課にお世話になって、まなびタウンで開催しました。10日に齋尾廃寺遺跡の現地説明会を行いました。今後の予定は、29日に今年度、来年3日に来年度分の成人式を行います。各校の終業式、始業式、学校閉庁日は資料のとおりです。 次に、各課報告です。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>校区外区域外就学の認定について報告します。4件の認定をしております。校区外に転居した2人について卒業までということで認定しております。区域外就学については、琴浦町内に引っ越してこられた3年生が、卒業までは通っている町外の中学校へ通うよう認定しております。もう一人は来年度中学校に入学される方で部活動参加のために、来年4月から1年間、区域外就学を認めております。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>まず1点目は特別史跡齋尾廃寺跡発掘調査の説明会を10日日曜日の午前中に行いました。参加者は27名で、発掘した調査の内容と合わせて、出土品の説明等をさせていただきました。2点目は、中部ハイスクールフォーラムを昨日午後開催しました。これは中部地区の高校生の取り組みを紹介するもので、中部の社会教育担当で行っております。今年度は完全に分散で、本会場は琴浦なんですけれども、高校と各自治体の会場を繋いで行いました。YouTubeでも3ヶ月間見ることができますので、ぜひご覧いただければと思います。また今回はゲストとして、南部町の高校生サークルの取り組みも紹介させていただきました。南部町はコミュニティ・スクールを実施する中で中学生が地域の活動もする取り組みがされておりまして、これも非常に参考になると思っておりますので、ぜひ動画を視聴していただければと思います。3点目は、文化振興</p>

	<p>施策のあり方の検討についてということで、カウベルホール閉館、新型コロナウイルスなど文化芸術活動は今、大きく状況が変わっている中で、町として行政としてどう支援していくかという方向性が必要となっている時期であります。このために今年度、あり方検討会を文化活動団体を中心に招集し、3回会議をさせていただきました。またアドバイザーとして鳥取県文化振興財団の村上さんに来ていただいて、財団の事業とか他の自治体の取り組み等もあわせて情報提供していただきながらアドバイスをさせていただきました。いろんな課題がありますし、その活動者や活動団体が解決すべき内容もありますが、行政として支援できるところを明確にしていきたいということで、補助金や施設利用料の減免については、対象などの方向性を出して、検討していく形である程度方向性が見えまして、予算化していきたいと考えております。</p> <p>社会教育課からは以上です。</p>
人権・同和教育課長	<p>まず一つ目は、第3回の人権教育に関する意識調査の報告講演会を予定しております。日時は1月12日水曜日です。講師は大東文化大学の一盛教授にお願いをする予定にしております。先生には意識調査に当初から関わっていただいておりますので、その調査結果や記述欄から分析や考察をしていただき、講演をいただく予定にしております。二つ目は、12月10日から1週間、北朝鮮人身人権侵害問題啓発週間という期間です。職員にはブルーリボンのシールを県からもらいましたので、ブルーリボンをつけて啓発しているという状況でございます。</p>
教育長	<p>3課の報告について質問等ありますでしょうか。</p>
教育委員	<p>区域外就学について2人目の生徒は一年生の間だけの認定ですけど、まだ先がわからないからということで、この期間だと思っていいですか。</p>
教育総務課長	<p>校区外と区域外就学の認定については去年、要綱を改正して、校区外の場合は、卒業まで認めるということにしました。区域外は他の市町との関係があるので基本的には学年末までとして、その都度、その地教委同士で協議をするようにしていますので、1年間ということで、認定しています。</p>
教育長	<p>次に5番の報告です。</p>
指導主事	<p>計画訪問について報告します。10月、11月と琴浦町の教育委員会後期計画訪問にご参加いただきありがとうございました。たくさん委員の皆様から意見をいただきまして、とてもよい訪問になったと思います。後期の計画訪問の中で、ICTの活用がとて各学校で進んでいるようでした。次回はさらに効果的な活用やどの場面で使ったらいいかということについて、検討していきたい</p>

<p>教育長</p>	<p>と思います。また2点目は、地域との連携がこども園も学校もすごく充実しているという内容でした。今後コミュニティ・スクールに向けて、さらに地域と連携をしていこうと話がありました。最後に、やはり人間性を高める、人間力をつける子どもの成長を目指すこと、また、若手教員の力をつけていくこと、さらには先生自身の人間力を高める、そのような視点での話が多かったと思います。また来年度も前期計画訪問、後期訪問を予定しておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>計画訪問について報告がありましたが、皆さんの方から何かありますでしょうか。</p> <p>ないようですので、次に進みます。</p> <p>琴浦町コミュニティ・スクールについて報告をお願いします。</p>
<p>指導主事</p>	<p>これにつきましては、船上小と聖郷小の学校運営協議会のメンバーについて、来月、遅くても再来月までに、教育委員会でご承認をいただけたらと思います。前回お示しした規則の中に運営学校運営協議会のメンバーは15名以内となっておりますが、校長先生にお聞きしたところ、今のところ15名に近い人数で考えていると言っておられました。船上小については、地域コーディネーター1人、公民館の代表、公民館長と公民館主事、集落支援員、赤碕文化センターの館長、主任児童委員、保護司、地域住民、PTA会長副会長、学校の方からは校長と地域連携担当職員ということで教頭先生で考えておられます。聖郷小の方は、3地区公民館長がいらっしゃいますので下郷、上郷、古布庄の公民館長、PTA会長、学校支援ボランティア3名、学校支援ボランティアのコーディネーター1名、保護者、地域の方、主任児童委員、こがねこども園園長、校長教頭というような15名を考えておられるということでした。</p>
<p>C Sディレクター</p>	<p>先回の教育委員会でも言いましたように、日頃、学校にあまり出入りしておられない方、地域の中や町内かかわらず違う視点で学校の教育に意見いただけたける方など候補の方の意見がありましたら、お伺いしたいと思っています。今のところは他の5校も3月には次年度の教育方針なりを承認していただく予定にしていますので、そのあたりの進め方についてもご意見をお伺いできればと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>何か意見をお持ちの方があればお願いします。特に学校にあまりなじみのないけれども広い知見を持っておられて、いろんな考え方、意見を言ってもらえる方で思いつく方ありますか。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>移住されてきた方ですが、民芸に取り組んでおられる方がいます。学校にはまだあまり接点がないようですが、地域という目で見ると、地域のことを新鮮</p>

	<p>な目で見てもらえるかもしれません。</p>
教育長	<p>運営協議会のメンバーについては、来月の教育委員会でもご意見をいただければと思います。その他にありますでしょうか。</p>
C Sディレクター	<p>コミュニティ・スクールに関するチラシの案をつけていますので、こちらもご意見をいただければと思います。</p>
教育委員	<p>少し情報量が多いように思います。単にコミュニティ・スクールの説明でなく、もらった人が自分がどうやって協力できるか、関わり方がわかるような内容がいいと思います。</p>
C Sディレクター	<p>チラシの意図は、ボランティアの募集よりは協議会や組織ができたということのお知らせです。ボランティアは各学校で必要な方の募集をされるのがいいと考えていました。が、こうなりましたという内容だけでなく、地域の方の関わり方がわかるようなものも入れた方がいいかもしれませんね。</p>
教育委員	<p>かなりの方がそのコミュニティ・スクールのイメージが全くわからないどころか、初めてコミュニティ・スクールって言葉を聞く人も結構いらっしゃるんですよ。だからコミュニティ・スクールとはこういうものです、何のために作るんです、何のために作るかってことを、まず知ってもらうのが入り口だと思います。ある程度少し浸透していく中で、どうやって今度関わってもらおうかということ、戦略を立てて、地域の方に深く関わってもらいながらプランを立てていくというのがいいのかなと思ったりしています。</p>
教育長	<p>では、今意見の出たものを参考にさせていただいて再度、わかりやすい形のチラシにさせていただくようにお願いします。</p> <p>次に、児童生徒の状況について報告をお願いしますか。</p>
指導主事	<p>生徒児童の状況について報告</p>
教育長	<p>次に、来年度の事業について各課から説明をお願いします。</p>
教育総務課長	<p>お配りした主な事業計画案をご覧ください。ICTの活用教育につきまして、来年度に向けては、各学校でいろいろ進めている教育のやり方の全体統括をするような人を任用することを考えており、年末に視察に行く予定です。研修や教材の整備は引き続きやっと思っています。教職員の働き方改革についても引き続きやっしていきます。労働安全衛生体制ということで、労働安全衛生法の中で働く人の健康管理という規定がありまして、琴浦町の小中学校の</p>

場合は、教職員の人数の関係から設置義務はないんですけども、それでも先生方の健康管理を考えて長時間勤務者に対する面談体制を考えていく必要があると思っています。健康診断は毎年受けていただいているんですけども、受けっぱなしになっているので、ラインできちんと管理ができるようになればいいかなと検討している段階です。続きましてコミュニティ・スクールにつきましては先ほどありました通り、先行する2校でスタートするのが新しい取り組みです。学校図書館についても今年、全校に配置したことを検証しながら、引き続き配置したいと考えております。次はグローバル人材の育成について、ALTも順次配置できそうですし、小学校にも新しく入れております。これについては国内外でオンラインを使って何か交流ができないかと考えております。次に外部評価ですけども、毎年、教育行政の評価ということでこの場でご議論いただいておりますが、基本的に法に定められた評価でして、外部の目で評価することも考えています。また、施設設備の整備をあげておりますが、小中学校の施設や設備が古くなってきています。近代化について検討してきているんですけども、普通教室以外のエアコン未整備、和式トイレが非常に多かったり、照明のLED化もなかなか進まないというのがあります。一体的に整備していく必要があるんですけども、いっぺんには全部できませんので計画を作っていくことを考えております。校庭の芝生化について議会の方からも提案がありまして、検討しますということで答弁しておりますが、芝生を貼ることはすぐにできるんでしょうけれども、結局それを維持管理していくところを考えていくと、すごい高額でお願いして誰かにやっていただくっていうのもなかなかずっと続けていくのは難しい、かといって先生がずっとやっていくのも時代に合っていないように思います。教育活動の中で管理をすることになるといいのかなと思ってるんですけども、そのあたりの調整を学校と相談しながら、検討をしていきたいと思っていますので、来年度については予算化はできないかなと考えています。最後に教育相談支援体制ということで、先ほども報告がありましたけれども不登校なり不登校傾向というのがどんどん増えています。学校には来れるけれども、みんなと一緒に学習することが難しいという生徒も増えている中で、その居場所づくりを考えていく必要があると思っています。

社会教育課長

まず、まなびタウンのリニューアルについては、現在基本設計が終わっております。来年度は詳細設計実施設計の予算化を進めていきたいと思っております。リニューアル後の使い方とか、施設の運営の仕方ということも踏まえて、設計の委託とサービス運営計画を作りたいと考えております。次に生涯学習の推進についてですが、様々な場面で生涯学習機会の提供をしないといけないという問題意識がありまして、学習の機会の提供を拡大していくことを考えております。次に人口減少時代の地域づくりです。琴浦町は公民館の体制ですが、従来説明させていただいているとおりまちづくりセンター化に向けた各

地域の進捗に合わせた取り組みを継続して行っていきますし、公民館においても学びの提供、特に多世代が交流できるような学びの提供を考えています。また説明については、浦安地区公民館は現在の社協に移る予定ですので、現在の活動者と協議もしながら、移転していきたいと思っております。ふなのえこども園と成美地区公民館については新築移転ということで、現在設計業者と地元の方、公民館、こども園の関係者等でワークショップを開催しております。引き続き関係者と協議しながら、新築移転について継続して取り組みます。また公民館サイドとしてもコミュニティ・スクールとの関わりというのが出てくるかなと思っておりますし、統合した地区については各地区公民館の取り組みに特色が出てくるかなと思っております。例えば安田地区については公民館で子どもの声が響くような取り組みがいいということで、放課後子ども教室を地区公民館でできないかということもありますし、夏休みや冬休みにも宿題が公民館でできるような取り組みをされるということで聞いておりますので、学校と公民館が具体的に関わるような取り組みをしていけたらと考えています。次に文化財の保存活用についてですが、河本家については今年度で大規模改修が終わります。改修後は、主に地元の保存会組織が中心になって活動されておりますので、そういった活動の支援も含めて、町内の重要文化財をPRして行って、ふるさと誇り教育の一環として、いろんな場面で知ってもらうような取り組みも町としては進めていきたいと思っております。齋尾廃寺については、今年度と本年度から3年かけて再調査を行うこととしておりますので、来年度も継続して調査をしますし、成果があれば説明会等を開いて、山陰地方唯一の特別史跡ということで、史跡の価値をもっと住民の方々に知っていただく取り組みを進めたいと思っております。文化芸術振興については、文化団体、文化芸術団体の組織化を今後進めたいと思っておりますし、その支援をしていきたいと思っております。また鳥取県文化振興財団が、地元で演奏会等するアウトリーチ事業を進めたいということでそれに連携して、今後も協力していきたいと思っております。社会体育については、町の方針として健康寿命の延伸ということに取り組んでおりますので、さらにそれを強化したいと思っております。総合公園については運動支援中核拠点ということで、しっかり施設、施設の整備をしますし、新たに健康診断と連携して、いわゆる特定健診で引っかかったメタボ予備軍の方の運動指導につなげていけるような連携した取り組みをします。総合体育館の教室やトレーニングルームを使って改善された事例があり、健康づくりに取り組むような仕組みづくりをしていきたいと思っております。若い世代から運動習慣をつけることで、将来的な介護予防、健康寿命の延伸につなげたい、裾野を広げる活動もしていきたいと思っております。各総合公園は民間活力を、民間資金を調達しながら、施設改修とその維持をしていくことで進めておまして、PFI事業というんですが、それに向けて保護者、関係団体との連携を継続していきたいと思っております。

<p>人権・同和教育課長</p>	<p>来年度の主な事業というところで、今後の人権啓発教育の方向性を出すために基本方針というものを作っている最中でございます。その方針に沿って取り組みを進めていきたいと考えております。基本方針には各分野別の個別の課題17項目を各人権問題として挙げております。その中で特徴的なものというところで、文化センターの相談体制の充実を挙げさせていただきました。文化センターはご存知のように、人権啓発とか地域住民との交流の場という拠点施設として今も活動しているところです。これまでの人権啓発の場というものも継続していくんですけども、福祉施設としての役割も果たして行くべきではないかということも考えております。福祉施設としての役割を果たすためにというところで、各住民の支援体制を整えるということが重要だということで相談体制の充実を今考えております。困りごとがあっても相談に行けない人、実際に孤立してしまったような人が一番問題ではないかと考えまして、町民の中の様々な困りごとを受けとめる場所というところで、文化センター、隣保館で役割を果たしていければと考えております。相談体制として隣保館で受けた相談は、各関係機関と連携して問題解決につなげていくと考えております。実際来年からこのような体制をとって、すぐできるとは考えられないんですが、そういった体制をとれるように文化センターとしての役割を構築していくを進めていこうと考えております。</p>
<p>教育長</p>	<p>今、三つの課から来年度の指定事業について説明がありましたが、何か質問ありますでしょうか。</p>
<p>教育委員</p>	<p>1点目は労働安全衛生体制の拡充というところですけども、これ今現在、学校の衛生委員会があり、月1回程度開催されていると思いますが、今後はその内容をもう少し丁寧に深めたいということですか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>そうですね。法律上50人以上の職員がいる職場には産業医を置いて推進をしていくことになっているんですけども、町内の学校は50人以上いない職場ですので産業医を置いて管理をしていくわけではなく、長時間勤務者に対してその産業医に当たるような医師に相談ができる体制を整えたいと思っています。長時間勤務の先生がいらっしゃるので、この対応からまずやっていきたいと考えていました。</p>
<p>教育委員</p>	<p>外部評価の導入というところですけども、これまで外部評価委員による評価がなかったということですか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>そうです。琴浦町の場合は内部評価をして、議会に状況報告することで、外部の目を通してという形でこれまでやってきていましたが、この辺りをきちんと整理をして、外部評価委員さんの目で見ていただくことを考えたいと思</p>

	<p>っています。</p>
<p>教育委員</p>	<p>教育行政の点検及び評価というのは多分対象になると思うんですけども、どうの方がを外部評価委員として想定されてるのでしょうか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>人数は2, 3人を考えています。それと教育関係の方、地域を代表するような方をお願いしたいと思っております。教育関係者は、いろいろな教育に関わっておられるまたは関わってこられた方と思っております。他の町村の例を見ますと、大学の先生であるとか、高校とか学校長のOBですね。こういう方が入られていたり、それから地域の中でいろんな活動をやっておられる方とか保護者代表というふうな方も入っておられます。</p>
<p>教育委員</p>	<p>教育行政評価は大体いつごろになりますか。何年か教育委員として評価を見せていただいたり、意見を言ったりする機会がありますが、年度の遅くなつてからで、本当に評価が簡単に終わってしまってるような気がします。来年度に向けてどうしようというのは、あまり意見交換されてないような気がします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>大体年3回は必要でないかと思っております。一番最初に評価委員に、こういう計画でこういうところを見ていただきたいという評価のポイントを説明することとあわせて、今年度の取り組みを説明します。中間評価をしたり、現地に行つて見ていただくものを2回目。そして最後、それをまとめてどうだったかという評価をしてもらおうということで、3回必要かなと思っております。</p>
<p>教育委員</p>	<p>この教育委員会の中での評価も同じようになりますか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>外部評価委員と、教育委員それぞれに評価をしていただくことになります。それで、外部評価と教育委員会の評価は別に記載するというふうな格好になります。いろんな評価の仕方があるので、統一してこれでないといけないということはないんですけども、外部評価と教育委員の評価は別になってるところが多いですね。</p>
<p>教育委員</p>	<p>外部委員の方はそれなりの視点で見られると思うんですけども、こういうペーパーをみただけでの評価だけなのか、もう少し突っ込んで、いろんな担当職員にもいろいろ聞き取りをするのはどうでしょうか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>今考えてるのは最初に説明をして、2回目にはそういう聞き取りもしていただきたいなと思っております。ペーパーみただけでは表面的なことしかわからないということもあるので、評価を生かしていくというためには、実際にどうなってるのかまできちつと見ていただいて評価してもらえたらと思っております。</p>

教育委員	<p>社会教育課の公民館とコミュニティ・スクールとの連携というのが新規の取り組みに書いてあります。具体的な何か取り組みはありますか。</p>
社会教育課長	<p>具体的にはまだありませんが、国から公民館とコミュニティ・スクールとしっかり連携しなさいと出されておりました、地域に合った学校や地域の子どもをしっかり支えていきましょうねという声かけとか推進体制っていうのをしたいです。やはり地区公民館単位でできることを考えていただきたいと思っています。安田地区では、子どもたちが地域の中でかかわれるような仕組みづくりを考えておられるので、参考になるとおもっています。</p>
教育委員	<p>コミュニティ・スクールで委員さんを見つける話がありましたが、関わっている人はわかる事がいっぱいある。地域の人で何をしたいかもわからない人がいる。そこをつなげるのが大事で、もしかしたら何かできる人いるかもしれないのに繋がらないというのがとても損だから、それを、このコミュニティ・スクールをされる協議会の方とまちづくりセンター、公民館が関わって、その地域にうまくつなげるようにしたらいいと思っています。さっきのその募集っていうのも、こんなことをしますよとお知らせして、知ったけれどもどうしたらいいんだろうという人や、学校が統合された地域の人をどう関わらせていくかがすごく難しいと思っています。</p>
CSディレクター	<p>今言われたことはとても大事で、今、協議会のメンバー、実際に動いている方が地域に帰ってそこでいろんな声掛けをして集めてくるというようにして、広げることを考えてますので、今言われたようなことは十分頭に入れてやっていかなければいけないと思っています。</p>
教育委員	<p>教育総務課で新しく不登校対応の居場所づくりをされるのが、とても気になってますし、してもらえるとすごくいいなと思いました。</p>
教育総務課長	<p>不登校対応として、うまくICTを活用していただくっていうところは大きいかんとは思います。今現在、教室に入れずに相談室や保健室までで止まっている形ですけどやっぱり、基本的には「学びをとめない」というところを考えれば、そういった場所でも、もちろん家にいながらもICT使って教室と繋がるところを教員に活用方法を知ってもらって、活用していただけるといいなと思っています。もう一つは、学習支援員を課題の多い学校に配置することです。やはり人による支援も必要だと考えています。何もない中で子どもたちが教室に入ってきませんので、人の力で教室へ入れる手助けも取り組んでいけたらと考えています。もちろん外部のフリースクールですとか、そういうところに協力してもらおうことも、継続してやっていくつもりです。</p>

	<p>また、学校の図書館っていうのも一つの居場所だということで、それについても考えていこうと思っています。</p>
教育長	<p>その他に全体を通して何かありますでしょうか。</p>
教育委員	<p>なし</p>
教育長	<p>日程第7 閉会 本日の委員会は、以上で閉会とします。 次回は1月24日に開催します。</p> <p>令和3年第13回琴浦町教育委員会の内容を記録し、相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>署 名</p> <p>署 名</p>